

(第6号様式)

平成26年度 第六回茅ヶ崎市地域公共交通会議

議題	1 開 会 2 会長挨拶 3 議事 （1）コミュニティバス東部循環市立病院線（小和田・松浪コース）の運行について （2）コミュニティバス北部循環市立病院線及び予約型乗合バスの運行について （3）コミュニティバスに関するその他取り組みについて （4）茅ヶ崎駅北口周辺地区の交通環境の改善について 4 報告事項 5 意見交換 6 その他 7 閉 会
日時	平成26年10月15日（水） 14時00分～16時00分
場所	茅ヶ崎市役所 分庁舎5階 特別会議室
出席者	中村委員（会長）、村越委員、植松委員、山崎委員、三木委員、中澤委員、杉山委員（（代理）千葉委員）、田中委員（（代理）杉本委員）、梅津委員（（代理）渡邊委員）、寶珠山委員、秋元委員
欠席者	大澤委員、八島委員、大野木委員、夜光委員
事務局	茅ヶ崎市都市部都市政策課：関野課長、山本課長補佐、山崎副主査、久保副主査 （株）長大
会議資料	・ 議事次第 ・ 地域公共交通会議委員名簿 ・ 出席者名簿 ・ 席次表 ・ 茅ヶ崎市地域公共交通会議設置要綱 資料1 コミュニティバス東部循環市立病院線（小和田・松浪コース）の運行について 資料2 コミュニティバス北部循環市立病院線及び予約型乗合バスの運行について 資料3 コミュニティバス鶴嶺循環市立病院線（鶴嶺南コース）の運行について 資料4 利用促進キャンペーンについて（コミュニティバス全4路線） 資料5 茅ヶ崎駅北口周辺地区の交通環境の改善について 参考資料 茅ヶ崎市予約型乗合バス ご利用ガイド コミュニティバス えぼし号 路線図
会議の経過	別紙のとおり
備考	

第六回 茅ヶ崎市地域公共交通会議（10/15） 会議録要旨

（１）コミュニティバス東部循環市立病院線（小和田・松浪コース）の運行について

- ・東部循環市立病院線（小和田・松浪コース）の利用状況についての報告とダイヤの見直しについて最終便の時刻を 30 分繰り下げる運行を試行的に実施する説明を行った。
- ・辻堂駅のバス停が降車専用のような作りになっている。線路側にバス停を設けることや、見やすいところに時刻表を掲示しておくことで、駅からの乗車利用にもつながるのではないかと。便を増やせなくても、利用しやすくする工夫をしてほしい。
- ・自治体運営のコミュニティバスをどう進めていくか自治体の方針を作ったほうがよい。例えば、3 年に 1 回全体の見直しをするなど、利用者が増加傾向にあれば成長する可能性があるという道筋を提示する中で、市民がコミバスを使おうかと伝わりやすくなる。
- ・消費税増税に伴い運賃改正したこともあり、茅ヶ崎駅南口の路線バスの利用は減った。また高齢化が進みバス停までの移動が難しくなっている利用者もいる。今後は路線バスとコミュニティバスをうまく組みあわせていくことが必要である。
- ・路線バスとコミュニティバスの役割分担について常に考えていく必要がある。

（２）コミュニティバス北部循環市立病院線及び予約型乗合バスの運行について

- ・北部循環市立病院線と予約型乗合バスの利用状況と予約型乗合バスについてのアンケート結果についての報告をおこなった。予約型乗合バスの改善策、乗合所の追加、香川駅前広場整備に伴うバス停位置の移設に関する説明を行った。
- ・他のコミュニティバス路線は茅ヶ崎駅に行くが、北部循環市立病院線は香川駅を経て市立病院止まりで不便である。乗継は不便で、茅ヶ崎駅経由か市役所経由が必要である。
- ・バスルートは路線バスと競合しない方向で見直し協議を進めたい。
- ・乗継がうまくできるように、ダイヤ改正などで調整したい。
- ・予約型乗合バスは、皆楽荘が乗合所に追加され良くなっている。利用しだすと便利であると定着してきた。
- ・予約型乗合バスは、もう少し範囲を超えて運行すると便利になる。隣接地区に地元住民が行くスーパーがあり、そちらまでの乗入れが利用者増加につながる。
- ・予約型乗合バスの乗合所については、地域のニーズを調べて調整していきたい。
- ・周辺自治体との運行サービスの比較で茅ヶ崎市は高い水準としているが、運賃と運行日では高いが、駅・買物施設アクセスが悪い。
- ・市民の意向を満足できる乗合所の追加を今後も進めていきたい。
- ・予約型乗合バスについて、1 日の運行数と乗り合いの状況はどうなっているのか、利用が少なくても乗合がなければタクシーと同じになる。
- ・1 日何便運行しているかを報告するのはシステム上、難しい状況だが、乗合率は 1.2 人/台である。
- ・乗り合いは他地域でも問題になっている。これらの指標はいろいろあるので数値を出せるようにしてほしい。
- ・里山公園のイベントは、毎月行っている。年何回かなら問題はないが、迂回するケースが増加すると何のためのバス停か分からなくなる。

- ・迂回について年間を通して把握したい。
- ・イベントで一般車両が混雑するからバスが迂回するというのはおかしい話で、混雑しないよう一般車両の利用を考えてもらうことが必要である。
- ・新芹沢コースの迂回についての承認依頼を行い、承認された。

(3) コミュニティバスに関するその他取り組みについて

- ・鶴嶺循環市立病院線のバス停新設・1便のルート変更とコミュニティバス全路線の利用促進のための無料キャンペーンについて説明を行い、鶴嶺南コースのルート変更の承認の依頼を行った。
- ・コミュニティバスのキャンペーンは良いが、公共交通の充実のような方向で路線バスもあわせてやってほしい。
- ・高齢化がすすむ将来に向けて、バス利用の実体験をこのキャンペーンで行ってみて路線バスへの対応なども進めてゆきたい。
- ・キャンペーンの中で今後の公共交通に何が必要かを調べてみるような計画はないのか。
- ・利用の機会を与えて問題が生じれば、それを解決するために利用者と意見交換を行い改善策を見つけていくこと、そしてこれを続けていくことが最も重要となる。
- ・無料体験した人の声をうまく集める方法も検討したい。
- ・利用の少ない北部や西部の地域で機能するようにPRするため実施するのはよい。利用の多い南部でこういうキャンペーンを行うと混乱が予想されるので理解できない。
- ・ルート毎に有料・無料となると混乱をきたすと考えて全路線を対象にキャンペーンを実施するとした。
- ・利用条件を付けるなど、まだ少し時間があるので、考えてみてはどうか
- ・承認事項については、異議なく承認された。

(4) 茅ヶ崎駅北口周辺地区の交通環境の改善について

- ・茅ヶ崎駅北口周辺地区の交通環境の改善について報告を行った。
- ・特に意見はないようなので、分析手法が出てきてから再度議論をする。

(5) 報告事項

- ・特になし

(6) 意見交換

- ・検討事項が多くでたので、早めに資料等できたら確認したい。

(7) その他

- ・次回7回の会議は来年2月から3月頃を考えている。日時については、会長と相談して決定ししい委員にご案内する。

以上